

林城・林小城整備事業

取り組みに至る背景・事業の目的

里山辺林地区には、戦国時代松本地方を支配していた小笠原氏が築城した林城・林小城があり、ともに県史跡に指定されている。

林城跡は整備されていて、多くの市民が歴史に触れる場所として親しまれているが、林小城跡は荒れたままになっており、城跡への遊歩道も整備されていない状況にある。そこで、林町会が中心となって、林小城周辺と林小城への遊歩道を整備して、後世に伝え残していくこととした。

事業内容

- 環境整備
 - ・ 林城跡～林小城跡間遊歩道整備等
全6回作業実施 参加者延べ100人以上
- 案内標識設置
 - ・ 城跡登り口案内標識 3基
 - ・ 道標案内標識 12基
- 散策マップ作成
 - ・ 近隣の神社等を含めた「歴史の里」散策マップ2,000部
- 林小城等史跡巡りイベント開催
 - ・ 11月24日 参加者約100名



【遊歩道の整備】

事業効果

- 史跡の保存と後世への継承
 - ・ 県の史跡指定を受けている林城跡、林小城跡とともに、整備・保存する。
- 地域の活性化
 - ・ 身近な里山として、歴史探訪だけでなく、健康増進のトレッキングコースとして多くの者の来訪を促し、地域の活性化を図っていく。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

林小城跡からの眺望が立木により妨げられているので、地権者の同意を得て立木を伐採し、眺望を良くし、引き続き周辺整備とPRを行い、誘客を図っていききたい。

【選定のポイント】

地域住民の協働により、史跡が整備・保存され、身近な里山として歴史探訪だけでなく、健康増進のトレッキングコースとして活用され、来訪者の増加等により地域の活性化にもつながっている。

団体名	松本市里山辺林町会（松本市）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	会長 柳澤 一則	事業費	245,157円
	電話 0263-25-9477	支援金額	184,000円